

広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

招 集

令和4年8月9日（火）午前9時30分 議会委員会室

出席委員（8名）

（臨時委員長）錦 織 陽 子

（委員長）西 野 太 一 （副委員長）伊 藤 ひろえ

岩 崎 康 朗 門 脇 一 男 森 田 悟 史 矢 田 貝 香 織

吉 岡 古 都

欠席委員（0名）

出席した事務局職員

松下局長 田村次長 森井議事調査担当局長補佐

傍聴者

報道関係者0人 一般0人

協議事件

- 1 正副委員長の互選
- 2 よなご市議会だよりについて
- 3 その他

~~~~~

## 午前9時27分 開会

○錦織臨時委員長 ただいまから広報広聴委員会を開会いたします。

本日は、米子市広報広聴委員会要綱第6条の規定により、準用する米子市議会委員会条例第8条第2項の規定により、年長の私が、委員長が互選されるまで委員長の職務を行います。

この際、お諮りいたします。互選の方法につきましては、指名推選の方法によることとし、臨時委員長の指名とさせていただきますと思いますが、御異議はございませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

○錦織臨時委員長 御異議なしと認め、そのように決定いたしました。委員長には西野太一委員を指名いたします。これに御異議はございませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

○錦織臨時委員長 御異議なしと認めます。委員長には西野太一委員が当選されました。委員長より就任の御挨拶があります。

○西野委員長 皆様、おはようございます。ただいま、広報広聴委員会委員長に任命いただきました、自由創政、西野太一と申します。よろしくお祈いします。市議会議員1期目にこのような重要な委員長に任命いただき、ありがとうございます。分からないことが多いと思いますが、日々精進して参りますので、諸先輩方、同期の皆様、御指導御鞭撻よろしくお祈いします。

引き続き、副委員長の互選を行います。この際、お諮りいたします。互選の方法につきましては、指名推選の方法によることとし、委員長の指名とさせていただきたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

○**西野委員長** 御異議なしと認め、そのように決定しました。副委員長には伊藤委員を指名いたします。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

○**西野委員長** 御異議なしと認めます。副委員長には伊藤委員が当選されました。副委員長から就任の御挨拶があります。

○**伊藤副委員長** 皆様、おはようございます。副委員長を仰せつかりました伊藤と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。委員長を助け、市民の皆様にとって分かりやすい議会、また信頼される議会となるよう、多くの方に広報広聴委員会をアピールして、また機能するように頑張っまいますので、どうぞ皆様方、御指導のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

○**西野委員長** では、次に協議に入ります。

市議会だよりについて、事務局からの説明を求めます。

森井さん。

○**森井議事調査担当局長補佐** 米子市議会だより第70号について御説明いたします。発行日についてでございますが、令和4年10月1日発行を予定しております。掲載内容についてでございますが、表紙の写真、通常ですと表紙の写真は公募して載せるんですが、今回は集合写真ですね、第6期米子市議会議員の集合写真を載せたいと思っております。それから内容ですが、令和4年の7月定例会のあらまし、正副議長の就任挨拶、会派構成、委員会構成、それから委員会の所管事項、それから市政一般に対する質問、これは25名になります。1人2項目以内ですね。それから議案等審議結果一覧表、広報広聴委員名、それからその他で次回定例会の日程に係る案内等を掲載したいと思っております。以上でございます。

○**西野委員長** 次に、そのほかですが、何かございますか。

○**森井議事調査担当局長補佐** 皆様のお手元に、広報広聴委員会の要綱というのをお配りしております。広報広聴委員会の所掌事務とか委員会構成とか、そういうものを全部掲載しておりますので、また見ておいていただければと思います。それから市議会だより発行に関する要綱、それから議会報告会開催要綱、この3つを皆様のお手元にお配りしておりますので、また後日御覧ください。以上でございます。

○**西野委員長** 次に、その他。

○**岩崎委員** その前に、その2番の項目が終わって、ある程度質疑もされたほうがいいと思いますよ。よなご市議会だよりについて事務局から説明がありました。委員の皆様からは御意見、御質疑等ありますかっていうことを諮られたほうがいいと思うんです。

○**西野委員長** 矢田貝委員。

○**矢田貝委員** 矢田貝です。次回議会のことを、まあ日程ですね、開会日とか掲載されていくんだと思うんですけど、そのときには何月議会というか、もう9月なわけですので、

10月……。そういう意味でいいんですね。

○森井議事調査担当局長補佐 すみません。9月はもう終わってますね。

○矢田貝委員 で、次の議会だよりのタイミングということで、ちょっとこの重なるとい  
いますか、タイトというか、市民がもらう側のそのイメージちょっと教えていただけます  
か。70号、71号、72号ぐらいまで見通して、どのタイミングでどんなふうに。1か  
月ずらしてるわけですから。

○西野委員長 森井さん。

○森井議事調査担当局長補佐 次回は10月1日号になります。で、その次は12月1日。  
で、その次が3月1日と、正常に戻りますんで。今回、1か月ちょっとずれた関係で9月  
1日号が10月1日号にずれておりますので。その後は正常に、12月、3月という具合  
になります。以上です。

○西野委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 ちょっとついていけなかったんですけど、戻るということですね。12  
月号からは戻ると。

○森井議事調査担当局長補佐 はい、そうですね。

○矢田貝委員 はい、分かりました。ありがとうございます。

○西野委員長 ほかに何かございますか。

錦織委員。

○錦織委員 12月1日号は12月1日に発行されるのですよね。

(「それが9月号。」と声あり)

○錦織委員 9月号で、それはまあいいとしても、10月1日発行で、その次の定例会っ  
ていうのは、12月の分が案内になるってということですか。

○森井議事調査担当局長補佐 はい。この10月1日で、9月の定例会をお知らせしよう  
と思ったんですけど、もう過ぎてますんで、一応ホームページに掲載しますということ  
載せたいと思います。日程はもうちょっと載せられませんので。

(「普通は載せられるけど。」と錦織委員)

○西野委員長 その他、ほかにございせんか。

伊藤委員。

○伊藤委員 米子市議会だよりに関する要綱のほうでもいいですか。ありがとうございます  
います。今コロナ禍なので議会報告会もなかなかできずに、昨年、一昨年はできなかった  
のかなと思ったりもします。そのことについて、できないのでそのままできないという  
ふうなことではなくて、何らかの方法で市民の皆様とも意見交換会みたいなことは考えて  
いくべきではないかなあと考えています。それで、例えばオンラインの開催だとか、あと  
特定する団体だとか、そういうようなことでできないのかなとっておりますので、また  
協議の日程等を取っていただくとありがたいなと思っております。来年からだと思っ  
すけれども、ひとつよろしく願いいたします。

○岩崎委員 関連していいですか。

○西野委員長 はい。

○岩崎委員 その意見に関連させてもらって、全く私もそのとおりで思ってます。こ

の後、その他の項で協議したらいいんじゃないかと、ちょうど思っていたんです。で、報告会どうしますかと。もうスケジュールがものすごくタイトになっていますので。通常だったらもうこの時期に大体その年間スケジュール組んで、報告会どういうふうな形でやっていくかっていうことほぼ決まって、そのスケジュールどおりに詰めていく作業になっていくんでしょうけど、それがなかなかできないので、今のところですね。じゃあ、すぐすぐにまた大々的な報告会ができますかって言ったら、今とてもじゃないけどそういう状況でもないと思いますし。じゃあ2年前は…、2年前はやってないか。前はユーチューブか何かを使って発信したということがありましたよね。まあ、そういうのが本当にいいのか、適当なのか。ぜひ協議をすべきだと思って、私もちょうどそのことを言おうと思ってたので。もし方向性だけでもちょっとここで話し合えればいいかなと思っておりますが、どうですか。

**○西野委員長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** 私もそのとおりだと思ってまして。そういえば今話し合っておかないと、また急にどう開催するって、やっぱりできないってことになっちゃうかなと思うと、岩崎委員のおっしゃるとおりだなあとと思いますので、今この後で協議が少しでもできればなと思っております。また、私、広報広聴委員会すごく久しぶりなんですけれども、その当時は米子市議会だよりの改訂というか、皆さん方によりよく分かりやすく読んでいただけるような改善の方法なんかも協議を重ねていたかなあと考えておりますので、また新議会になって若い方がたくさんいらっしゃって、シティプロモーションだとか、議会だよりの読みやすいような方向も併せて協議をして、できるところから少しずつ改善できればなあとというふうに考えておりますので、あわせて議論、御協議いただきたいなと考えております。以上です。

**○西野委員長** 矢田貝委員。

**○矢田貝委員** これ今もうその他でいいですか。関連して私もここで言っておきたいんですけど。よろしいですか。

**○西野委員長** はい。

**○矢田貝委員** 広報広聴の中の議会報告会という位置づけにつきましては、新しく議員の方々が多く入ってこられたというところと、この投票率のこととか、それぞれ多くの議員さんが課題認識を持っていらっしゃると思います。そこに対して、今までのこういった要綱等に縛られることなくですね、何がどう課題で、進んでいけるのかっていう議論があって、ここに向かって行かなければいけないというふうに考えています。議論の順番としては、ぜひ、これからどうしていこうかっていう、その26人の中のそれぞれの考えがある中での、市民と議会がより近くなるためのやり方っていうのが新しくなっていくようなこの委員会での話し合いをお願いしておきたいというふうに思います。議会報告会の大切さっていうのは、私も今発言されたお二人と共有しておりますので、委員長、よろしく願います、協力していきますので。

**○西野委員長** ありがとうございます。

吉岡委員。

**○吉岡委員** 私はこの間まで、市民の立場で議会報告会も何回か参加させていただいたん

ですけど、やはり傍聴したりすると全然違って、言われるように議員と市民の距離がすごく縮まる感じがしました。まず、議会とはどういうものなのかっていう、市民は知らない人がほとんどなので、そういう意味でもすごく議会報告会よかったなあと思っています。コロナ禍において、ユーチューブでの発信だけになってしまったんですけど、やっぱりハイブリッドで、リアルで聴きたい方は聴けて、配信で見たい方は見るみたいな、そういう形にしていくと持続可能性が出てくるのかなと思います。

○西野委員長 森田委員は何か。

○森田委員 吉岡委員の意見に非常に賛同できる部分もありまして、何か先ほど、オンラインでやるのが妥当なのかというような意見もあったんですけども、もう本当にまさにそのとおりだなと思ひまして。例えば本当に行きたい方が、オンラインのみになったときに実際に参加しにくいんじゃないか、みたいなところは実際にあるんじゃないかっていう懸念があるので、そういうリアル、プラスまあオンラインのハイブリッドで、どういう方向性で議会報告会を行っていかっていうところを検討したほうがいいんじゃないかなというふうに個人的には思ひました。

○西野委員長 その他あれば。

錦織委員。

○錦織委員 オンラインのイメージだと、こうやり取りができるってイメージですかね。

(「一方じゃないですか。」と声あり)

○錦織委員 ユーチューブで、今のは今でもできる。

(「双方向性でって話をしてるのに、できますよ、そういうやり方すれば。」と門脇委員)

○錦織委員 ユーチューブだったらできないけど、できるようになるから、そのイメージかなって。

○矢田貝委員 ですので、すみません。今までもこれに絡んでいくと、報告会ですから、やり取りできるかっていうことに変化するわけにはならないのです、これがある以上は。やっぱり議会として答えられることに対しては、議会の立場を踏まえて個人として、代表して行った議員が答えなければならぬんです。その議会報告会っていうところの、今日皆さん見てこられているのかどうか分かりません。これ初めてもらわれて、目を通しておられるのか分かりませんが、もう一回全部を見ていただきまして、広報広聴委員会に何を求められているのかっていうところからですので、ぜひその議論をですね、今日具体的に皆さんも持つとられるからこの意見になっていると思うんですけども、そこに向かえるのか、向かえないのか。そのためにはどこをつつけばいいのか。そんなの無視して、いけるところをどっとやればいっていうことになるのか、そういう整理だだと思ひしておりますので。私がさっき3番目に言わせていただいたことがそこが主にですので、よろしくお願ひします。

○西野委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 前議会の広報広聴委員会、最終的に検証されたと思うんですよ。そこら辺もし御報告いただければと思うんですけど。どういうまとめ方されたのか。要するにユーチューブがページビューがどれぐらいあったとか、何もしてないんですか。教えてください。

○西野委員長 事務局長。

○松下事務局長 きちっとした検証というのはしておりませんが、アクセス数等は随時調べておりますので、最終的なアクセス数、今直近の分、そういったものであれば御報告できると思いますので、準備したいと思います。

○岩崎委員 はい、分かりました。それで引き続きいいですか。

○西野委員長 はい。

○岩崎委員 どなたかの発言であったように、結局この3枚目ですね。3枚目、米子市議会議会報告会開催要綱。これに基づいて全て行ってますので、要するにやり方を変えるなり何なりするっていうのは、この要綱を変更からもうさばっていかないけんはずなんです。で、この要綱を変えるに当たっては、一回、委員会でこういう議論があったということを委員長・副委員長辺りが、議長・副議長あるいはその代表者会に一回諮っていかなきゃいけないのかもしれないですけど。要綱変更というような手続を踏まなきゃいけないということです。ただ、方向性を決めるのはこちら委員会なので、皆さんの本当に意見がまとまれば、こういう方向性でこの4年間まずリードしていこうよというような形になっていくと思います。これバツサリ変わる可能性だってあると思います。というのは、一つには稲田議長が新しく誕生されたときに、公約でも言われたのかもしれないんですけど、もうちょっと弾力性を持たせた広報広聴委員会機能をやっていきたいんだという御意見、御意見とかお考えがあったみたいで、その中身をちょっとだけ聞きますと、例えば全体でやるっていうのはちょっと、何ていうか重みもあるけども、あんまり深い市民からの御意見を聴取できたりということもできないし、今さらながら市議会はどうなものとか、議会で予算委員会でこんな発言がありましたとか、そういうようなことを全体で言うよりは、例えば各常任委員会で細分化したその議会報告会、広報広聴委員会の在り方っていうのを再度考えてみたらどうだろうかというような発言もあった、発言とか、思いがあったみたいで、なるほどなと思ったんですけど、実は私も前回議長してるときに、そういう実は思いを共有してまして、それぐらい常任委員会でもそれぞれ所管があって、例えばですね、民生教育委員会、教育も所管してるんで、PTA連合会とちょっと会合を持ちましょうとか、その会合が一応議会広報広聴委員会の一部でありますとかですね、そういうイメージです。要するに本当にそこに飛び込んでいっているいろんなお話を聞いたりですね、御意見を聞いたり、こちらから発信したりというようなことのイメージなんで、より深まるのかなっていうのが私の意見でありますので、もし検討の価値があれば検討していただいて、最終的にはこの要綱の改正を頑張ってやっていきましょうよというような形になろうかと思っておりますので。意見としてちょっと一旦言わせていただきたいなと思っております。で、できればその方向性を決めるんじゃなくて、本当に動いていこうよっていう気持ちがございます。私、たまたま都市経済委員会、まあ委員長を拝命しておりますが、やる気も結構ありましてですね、もしこういう可能であれば都市経済委員会でリードしてですね、もちろん、どうぞ全議員に声をかけますので、こういうふうに、いついつ何どき、こういう例えば商工団体諸団体とこういうふうにと何か会合を持ちますとか、パネルディスカッションしますとかね。そういったイメージをどんどん発信できればいいかなっていうふうには思っておりますので。いかがなものでしょうか。御意見ください。お願いします。ち

よっと行き過ぎか。

(「うん、ぐちゃぐちゃになる。」と矢田貝委員)

○**岩崎委員** ですね。承知しました。

(「皆さん思いが…。」と矢田貝委員)

(「ちょっとついていけないな。」と錦織委員)

○**西野委員長** 伊藤委員。

○**伊藤委員** おっしゃることはよく分かりますけれども、矢田貝委員がさっきおっしゃられたように、いろいろな課題っていうか、そこを抽出して、何が足りないのかとか、どういうふうにすればいいのかっていうその方向性をまずは何か模索してはどうでしょうか。

○**岩崎委員** 議論すると。いや、いいと思いますよ、それは。

○**伊藤委員** その中からまあできることを一歩ずつというような形で、要綱を変えなきゃいけなかったら、ここの部分はとか。まあ全部変えなきゃいけないかもしれないとか、そういうようなことが結果的にあるなあと思ったりします。

○**西野委員長** 吉岡委員。

○**吉岡委員** 先ほど私が言ったようなハイブリッドでみたいな開催のことについて、要綱を見たときに、リアルでやらなければならないというようなことがどこにも書いてないんですけど、何を具体的に変えないといけないのかっていうのが一つ疑問なのと、あと、さっき岩崎委員が言われたような、委員会として関連団体と協議したり話をしたり意見交換をするというのは、何か今さら決めることっていうよりも、議会の本質的な役割なんではないのかなというふうに思ったんですけど。そこまでハードルが高くって、そんなに飛躍したことだとは全然思わなくて、とても本来あるべき議会の姿だと私は受け止めましたけれども。

○**西野委員長** 門脇委員。

○**門脇委員** 議長の思いとしては、まだ議会報告会開催して何回、2回でしたっけ。2回ぐらいしか、ユーチューブは横置いといて。それの中でいろいろ課題が出てくると思うんですけど、今の要綱の中では第4条ですね、これは、「報告会は、米子市自治連合会のブロックごとに」って、こうなってますので、新しい方はまだ出られたことないから分からないかもしれませんが、どうしてもそういう自治連合会のほうのブロックってなると、やっぱり自治会の役員さんだとか、それに準ずる人が傍聴に来られたりするのが多くなるので、そういうことを経験すると、やっぱり若い方にも、どうしたら若い方が傍聴に来てただけのらうかとか、そういうことも考えていかないといけないと思うんですよね。なかなか一気に、まあ岩崎委員が言われたこともよく分かります。なかなか一気に飛躍をしていくのは難しいと思いますので、徐々にこのできるところから改革していきながら、この広報広聴委員会で皆さんと今までのところの反省点を踏まえながら改革をしていけたらなと思っております。最後は我々で取り決めたものを議長に上げて、最後議長が判断されますので。最後議長が決定されますので、それは委員長と話をされたらいいと思うんですけども、まだこの委員会の中での考えもまとまってないので。これから皆さんで協議しながら、そういう方向性を決めていかれたらいいと思いますけど、あくまでもやっぱり一応はこの開催要綱というのがありますので、これに準じてやっていきながらも改

革していくところは改革していくという具合にしていかれたらいいんじゃないかなと、私は思っています。

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 今、門脇委員がおっしゃられた、自治会のブロックごとっていう、だから4ブロックというところ。

(「決まってるんでしょう。」と岩崎委員)

○伊藤委員 4ブロックというのは決まってるんですね。自治会に回覧をしてもらう必要があるってことなので、その回覧の期間は大体、遅いところは回りが遅いので2か月ぐらい前。そうすると、その前にある自治連の会長さんの皆さんの総会みたいところで一応お願いをしなきゃいけないっていうような段取りがあるので、すごく自治会のブロックっていうふうにするととても大変だし、議会報告会も機動的にさっと開くっていうようなことはちょっと難しいかなあというふうに思いますので。でも、その課題としては、やっぱり自治会に関連する方はいろいろ自治会から要望を挙げていただいたりとか、意見を言っていただく場面はすごくたくさんあると思うんですね。やっぱり若い方の意見がなかなか取り込めないっていうところが、やっぱり課題としてずっとあったかなと思います。一つは高専の加藤先生が生徒さんを送り込んでくださったりとか、高専と広報広聴委員会の意見交換会みたいなことも2回ぐらい行ってきましたので、そういう意味では、さっきいろいろ皆さんがおっしゃられたような、やっぱりハイブリッドだとか、そういうふうなところのほうがいいのかもかもしれないなあと思ったところです。どんどん意見を言うていただくっていうようなことや、あと投票率なんかでもね、やっぱり若い人はなかなか無関心だったりとか、議会のことが全く興味がありませんみたいなことだとしたら、困り感はたくさんあるのだけれども、じゃあ議会でどういうふうに自分の困り感が上がっていった政策になっていくんですかっていうようなことが何か分かっていたかと、それはそれですごく素晴らしいんじゃないかなあと思っています。

○西野委員長 錦織委員。

○錦織委員 私、すいません、ちょっとこれ、今ここに持ってきて初めてずらっと見たという感じで。さっぱりこの十数年ぶりに来たもんだから、前のこともあんまりね、前は何かちょろっと集まって、写真どれにしようか。じゃあ、どれって、何かもう全部事務局の方がお膳立てしてくださって、はいはい、っていう感じでやってたので、ああ、こんな感じなんだなと思って、このような関わり方をするんだなと思って、今ちょっと今さらながら思ったんですけど。ただ、今の感じでいいと思うんですけど、先ほど岩崎さんがおっしゃったように、各委員会のところでの、どこかの団体と意見交換とかする。それはもう委員会でやってもらわないと、広報広聴委員会で何かこうね、何か言って、この一環としてっていうのはちょっと大変だなと思って。委員会でいろんなところを視察したり意見交換したりするっていうのは、また、もちろんそれはそれでどんどんやっていただければいいと思うんですけど、それにいちいち、いちいちって言ったらあれですけど、ここがね、この委員会が関与してっていうのは、どうなのかなと思って。それを、こういうことがありましたっていうのに広報紙に載せるっていうのはね、それはありだと思う。やっぱり活動報告も載せるっていうのはいいと思うんですよ。どんなもんなんですかね。



○西野委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 おっしゃることもそのとおりです。本来であれば常任委員会がもっと機能強化しながら、常任委員会が率先してやっていくっていうことは誠にいいことだと思いますし、やるべきだと思っております。せっかく広報広聴委員会というのがあるので、その全体の、要はその市民と、広報はこちらからいろいろ言うんですけど、広聴ですから、やっぱりいろんな声を聞き上げていくっていう、我々のこの委員会の使命としても、そういうふうな一つの捉え方、命題みたいなものをつくっていったほうが、より動きやすいかなと思ってるんですけども。

○西野委員長 錦織委員。

○錦織委員 結局、そういうのはありかなとは思いますが、ただ、私はその議会報告会、これがあまり時間がかかったりとか、さっきね、これやりますよっていうのに、自治会のブロックだとか自治連のブロックだとか、そういうのがいろいろあるんだなあと思ってるね。それを開催するのを、いかに議会報告会を皆さんが気軽にできるようなふうにしていくかっていうのがこの委員の考えどころとか、どころなんじゃないかなと。そのことを検討してやっていくっていうのは、そんなに簡単なことではないと思うんですけど。

○岩崎委員 本当そのとおりなんです。ただ、これを見てください。まあ自分らでつくっておきながらあれなんですけど、非常にがんじがらめなんです。きちんとして決まったことを決まったようにやるような要綱になってまして。要は4条以降ですね、4条、5条、ずっとその開催回数だの、報告の内容だ、開催手続だ、説明資料だとか、全部決まってるんですよ。要するにこれを上回ることがなかなかできないので。こういうふうなことをちょっと、もうちょっと動きやすいようにしたほうがいいなっていう思いです。

○西野委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 この広報広聴委員会で何かをまとめて、どこかに提案とかっていうふうにするので、議長・副議長を中心に議会全体でもう一回、この報告会とかそういったことではなくて、市民と議会が開かれて壁が低くなっていくっていう意識を持ったら、常任委員会の、今、吉岡さんがおっしゃったみたいに、在り方とか、いろんなことでみんながどうやっていくのか、それぞれの委員会の発信の仕方とか、ネット中継とか、いろんなことの議論も含めて、議会全体がどうしてこうかっていう議論になるために、広報広聴委員会ですることこの私たちが開催に向けてというより、議論をする任期であってもいいのかなって、まとめ上げていくっていうふうにするんです。必ず回ってくるのは議会だよりっていうのは、もう、どんどんどんどん仕事としてはあるんですけども、この議会報告会を含めてどうあるべきかなって、今それぞれがおっしゃったこと、みんな正解だと思うんですけど、どっからやるのかって副議長がおっしゃったとおりで。それを何かまとめてみてはどうだろうというイメージなんです、私たちの仕事として。開催するっていうところに向かうのは、どうしてもここに引っかかるし、コロナもあるし、やり方を考えるけど、やっぱりこれを変えなければしょうがないし、議会全体の市民との距離感を縮めていくんだっていうために、もっと軽く動ける方法はないだろうかっていうところの議論をここがして提案していくっていうことを門脇委員がおっしゃったのかなあなんて思うんです。私はそれでいいと思います、開催じゃなくって。

○西野委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 もう一つちょっと意見というか要望で。次回まででいいですので、事務局さんにちょっと調べてもらいたいっていうか情報欲しいのは、鳥取市議会が、議会報告会の一応開催要綱もあるとは思いますが、もう一つ、何とかカフェ、もうちょっと緩やかなもんに出かけて行って緩やかにやっておられるのもありまして。その開催状況とかですね、それらをちょっと調べてまとめていただければなあ、教えてもらったらなと思います。それと、もし参考なところがあればですね、こういう町なかに出かけて行ってとか、もうちょっとこう緩やかなところでいろんなお話が、伝えるような好事例みたいなのがあれば、ぜひ資料として次回で教えてもらいたいなと思いますけれども。いいですか。お願いします。

○西野委員長 いいですか。

○森井議事調査担当局長補佐 はい、ちょっと調査してみたいと思います。

○岩崎委員 よろしく願いいたします。

○西野委員長 私の意見いいですか。

〔西野委員長が副委員長席に、伊藤副委員長が委員長席に移動〕

○伊藤副委員長 はい、じゃあ西野委員。

○西野委員 すみません。矢田貝委員がおっしゃられるとおりに、僕も同じような考えで、市議会だよりとか報告会とか、そういうふうに縛られるんじゃないくて、もっと本当に一般の方々に、要は市議会だよりとか議会報告会というのは、今まで市議会に興味があった方々が来たり見たりするものであって、やっぱり僕ら、まあ若くはないけど、若者としては見ないですね、僕ら世代やっぱり。ただ、そこを矢田貝委員が言われるように、そのハードルを低くするっていうのはすごい大事であって、例えば、米子市議会は中学生とかが議会に入ってやってないですかね。

〔「やってないです、子ども議会はね。」と伊藤副委員長〕

○西野委員 何かそういうのとか、ハードルどんどん低くして行って、ちょっと本当、若者が議会に触れる機会っていうのをちょっと増やしていくところからまず、そこから始めなければいけないんじゃないのかなと。今まで興味があった人は、オンラインをやっても何をしても見ると、でも、興味なかった人はオンラインしても何やっても見ないと思うんですよ。なので、先ほど岩崎委員が言われたように、家庭的なやつもそうですし、やっぱりハードルを下げたあげることっていうのはすごい重要じゃないかなと思います。以上です。

〔西野委員が委員長席に、伊藤副委員長が副委員長席に移動〕

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 今、西野委員長がおっしゃったことは、以前も議論があったかなあと思ったりします。大山町議会に行ったときじゃないかなあ。中学生、小学生が、自分の夢っていうのを議会だよりの一番後ろのほうに載せているので、それで自分も見ると、その学校の子どもたちも見ると、親も見るとっていうようなことで、順々にしていくと、全ての人が興味を持っていくというようなことを聞いて、何か米子市議会でもできないのかなあと議論したことも多分あるんじゃないかなと思います。

(「で、それは議論で終わったんですか。」と岩崎委員)

○伊藤委員 はい。なぜ終わったのかというと、何か学校がとでも多くて、それは教育委員会の方に私が聞きまして、学校がとでも多くて、なかなか1校1校行っていると随分長年かかるんじゃないかなあなんておっしゃってくださったんですけど、でもそれは私は手上げてもいいんじゃないですかというふうに言ったところでしたけれども。なかなかその議論が深まらず、紙面がきちきちになって、上げるところがないとかそういうような話もあったので、構成なんかをもっとその委員会で関わっていけばいいんじゃないかなあと。話がちょっと流れましたけれど、そういうふうにしたところでした。

じゃあ、もう一つ。構成も、議会だよりをつくる時に印刷屋がですね、1日だけでも一緒に話をする時間を取っていただけませんかっお願いして、それいいですよって言われてたんですけど、それから私も委員会離れていたのだから分かんない。やってないですね、多分。その辺はどうなんでしょう。

○西野委員長 事務局長。

○松下事務局長 私が就任してからはそういった意見もなかったですので、現実はやっていないです。

(「そうですか。はい、ありがとうございます。」と伊藤委員)

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 議会だよりの表紙の「よなご市議会だより」という文字を変えたときも、印刷会社さんに私行かせていただきましたが、快くね、本当に何か読みやすい資料も自分たちもつくりたいけれども、よく分からないんだっていうふうにおっしゃってたので。やっぱりその双方向のね、もっと市民の目線で読みやすいというようなことの構成はやっていくべきだなと思ってますので、ぜひよろしくお願いします。今回難しいと思いますけど、日程に入れていただければと思っております。

○西野委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 それと、事務局長。開催要綱、ここにあるわけですけど、これの改正に向かったのしるしとかですね、どういうふうにやっていけばいいものかしらと思ひまして、教えてください。

○西野委員長 事務局長。

○松下事務局長 ちょっと実際にやったことがないので、詳細はまた調べて報告したいと思いますが、流れとしては、開催要綱の見直し案みたいなのはここで叩いていただくというのが、方向性を示していただくというのは一つありなのかなあと。そのための広報広聴委員会だと思ひます。それですぐ決まりではなくて、そういったたたき台が出れば、例えば各派の会長さんに諮りますとか、そういったところで御意見を頂きながら、修正できるところ、修正すべきところ、ちょっと難しいところという整理の仕方が出てくると思ひます。最終的には要綱の改正ということになりますと、議運を通して最終的には正式決定するという流れになるかと思ひますけれども、ちょっと間違っていたらいいので、また調べて報告したいと思ひます。

○岩崎委員 分かりました。

○西野委員長 ほかに意見は。まだ何か。

○伊藤委員 今日出た意見とか課題とか、具体的にやっていきたいこととか、何か整理をしてね、まとめて、またそこで練っていったらいいとかいうのを、どこに要綱がどのように関連するのか、しないのかというようなこともあると思いますので、整理が必要かなあと考えています。

○西野委員長 各委員が箇条書みたいな感じで、こうしていったらいいとかいうのを、どうでしょう、期限決めて提出というか、そういう感じでよろしいでしょうか。その期限というのは、いつまでがいい感じになりますかね。

○松下事務局長 次の協議までにとのことですけれども、議会だよりの、次は…。

○森井議事調査担当局長補佐 定例会終わってからになりますね。今月末でも、皆さんで箇条書で何か意見を事務局まで出していただければと思います。

○西野委員長 そうですね。多分、今話し合っても、皆さん急なことだったんで、意見がまとまらないと思いますので。今月末。

○森井議事調査担当局長補佐 今月末で。箇条書で、皆さん意見があれば出して、事務局まで出していただきたいと思います。

○錦織委員 すみません、ちょっと物分かりが…。これは委員会要綱じゃなくって、こっちのほうだけですよね。議会報告会の開催要綱で、こういうふうにという案があれば出すと、今月末までにね、箇条書で。

○西野委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 広報広聴委員会として、今思っておられることみたいな、ザクッと何でも書いてもいいってことにしてもらったほうが。これに縛られるといけんと思うんですね。どうやったら垣根が低くなるのか、市民と議会が近づけるのかっていう、今日皆さんが自由に言えたあの雰囲気、ば一っと書いてもらって。そんなふうにするんですけど、ちょっと雑ですかね。

〔「いいじゃないですか。」と門脇委員〕

○矢田貝委員 そのほうが何かこの勢いのまま、あとは本当にまた委員長にうまく采配していただいて、それから整理していただいてね。このメンバーでどこで落としていけばいいのかってことも見えてくると思うので、広く書いていいにしてもらえたら助かります。

○西野委員長 では、縛りなしで、箇条書で。広報について、よろしくお願いします。そのほか何かございますか。

〔「なし」と声あり〕

○西野委員長 なければ、以上で広報広聴委員会を閉会します。

午前10時13分 閉会

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

広報広聴臨時委員長 錦 織 陽 子

広報広聴委員長 西 野 太 一